

令和4年度 安城市行政改革審議会（外部評価） 次第

令和4年10月3日（月）
午後1時～午後4時
第10会議室

- 1 行革・政策監あいさつ
- 2 外部評価の進め方について
- 3 外部評価
 - （1）子ども発達相談支援事業
 - （2）教育相談事業
- 4 振り返り

外部評価の進め方について（1事業50分）

①
担当課説明
【10分】

②
質疑応答
【25分】

③
評価
【15分】

①担当課による事業説明（10分）

- ・「事業評価シート」に基づきご説明します。

②委員の皆さまと担当課職員との質疑（25分）

- ・担当課からの説明を踏まえ、質疑応答を行い議論を深めていただきます。
- ・質疑応答中も評価シートのご記入を進めていただけて結構です。

③必要性や有効性等の観点から、事業を評価（15分）

- ・評価シートをご記入いただきます（3分）

評価にあたっては、委員の皆様が評価しやすいよう「対象事業の論点に対する評価区分について」を作成しましたので、参考にしてください。

➡3分経過後に、評価シート①、②のうち、評価シート①を回収します。

- ・評価に関するご意見をお伺いします（10分）
- ・評価結果の発表を行います（2分）

評価の視点

評価視点	必要性	行政関与の必要性、初期事業目的の達成状況、総合計画や市民ニーズとの関連性
	有効性	目標に対する進捗状況
	効率性	目的及び目標に対する事業実施方法の適正化、事務の効率化・簡素化
	公平性	事業規模及びサービス水準の適正化、受益と負担のバランス

評価区分（「対象事業の論点に対する評価区分について」をご参照ください）

評価区分	内 容
拡充	事業規模（事業量、予算、人員）を拡大し、事業内容を大幅に充実させるもの
要改善	事業規模または事業内容は継続するが改善する必要があるもの※
現行どおり	事業規模または事業内容を維持・継続するもの
縮小	事業規模または事業内容を減らすもの
廃止	事業を廃止するもの

※実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等

【当日配布資料】 評価シート①（評価結果集計用）

R4.10.3

令和4年度 安城市行政改革審議会（外部評価）

評価シート①

委員名	
事業No.	1
事業名	子ども発達相談支援事業
評価 該当するものに○印	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止

・ 評価シート①は評価結果集計のため、評価シート記入開始から3分経過後に回収します。

【当日配布資料】 評価シート②（評価コメント記入用）

R4.10.3

令和4年度 安城市行政改革審議会（外部評価）

評価シート②

委員名	〇〇 〇〇
事業No.	1
事業名	子ども発達相談支援事業
評価 該当するものに〇印	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止
《評価コメント》 ・（現行どおり、廃止の場合）評価理由をご記入ください。	
・（拡充、要改善・縮小の場合）具体的な取組や方法等をご記入ください。	
事業をより効果的に 行うためのアイデア がございましたら、 ご記入ください。	

市側の説明について該当するものに〇印をつけてください。

事業説明は分かりやすかったですか。	分かりやすい ・ 普通 ・ 分かりにくい
質疑応答では、回答は明快でしたか。	明快である ・ 普通 ・ 明快でない

運営その他、お気づきの点がございましたらご記入ください。

--

外部評価終了後、この評価シートは机の上に置いたままお帰りください。

・ 評価シート②へ、評価結果に加えて評価コメントのご記入をお願いします。

・ 質疑応答の時間中も、適宜ご記入いただいて結構です。

・ 点線より下にアンケートがございますので、ご協力をお願いします。

・ 外部評価終了後、評価シート②は、机の上に置いたままお帰りください。

【当日配布資料】 対象事業の論点に対する評価区分について

対象事業の論点に対する評価区分について

事業番号	1	事業名	子ども発達相談支援事業
------	---	-----	-------------

論点	年少児から小学校低学年の間に、子どもの発達に合ったかわり方ができる保護者を増やすことで相談件数の減少に微力ではあるが結びつくのではないかと考えます。ペアレントプログラムやSST事業は保護者へきめ細やかな対応を心掛けているため、一度に受講者を増やすことはできませんが、今後も継続して実施し、受講者の総人数の増加を目指したいと思ひます。また内容の充実を図り、保護者や家族が子どもと向かい合う力を高められるよう支援したいと考えます。
----	---

評価区分	評価内容※1	市の提案※2
拡充	相談件数の増加に対応するため、相談室や事務室の拡張を行い、専門職の増員を図る。	
要改善	ペアレントプログラムやSST(ソーシャルスキルトレーニング)事業の充実と周知を図り、受講者数の総人数の増加を目指すほか、相談件数の増加に対応するため、オンラインでの相談を実施するなど相談体制を見直す。	○
現行どおり	ペアレントプログラムやSST(ソーシャルスキルトレーニング)事業を現行どおり実施し、支援内容や相談体制も現行どおりとする。	
縮小	ペアレントプログラムやSST(ソーシャルスキルトレーニング)事業の実施では、相談件数の減少に結びつかないため、事業を縮小する。	
廃止	ペアレントプログラムやSST(ソーシャルスキルトレーニング)事業の実施では、相談件数の減少に結びつかないため、この事業を廃止する。	

【上記表の説明】

評価内容※1	論点に対する評価区分の例を表しています。
市の提案※2	市の提案内容を5つの評価区分に分けた場合に該当する評価を表しています。

・各事業において、論点に対する評価区分の例を具体的に記載しております。評価の際の参考にしてください。